

神戸大学
統合研究拠点の
「強み・特色」

1. 他大学や他学部等にはない独自性 (強み)

統合研究拠点は、神戸大学が研究拠点大学として発展していくために、全学の先端研究・文理融合研究を推進する目的で平成 23 (2011) 年 4 月に設置された。令和 4 (2022) 年 4 月からは神戸ポートアイランド地区において、学外機関との連携を促進し、学外の研究機関、他大学、産業界と共創することによって神戸大学の世界最高水準の異分野共創型教育研究拠点の構築を目指すため再編された。

統合研究拠点の設置されているポートアイランド地区では、理化学研究所、神戸市、兵庫県などにより医療産業都市構想に基づく先端医療とライフサイエンスのクラスター形成に加え、統合研究拠点の隣に設置されているスーパーコンピュータ「富岳」を中核とするシミュレーションクラスターの形成を推進している。その中で統合研究拠点は、学外の研究機関、他大学、産業界と連携して計算科学分野における人材育成や、統合バイオファウンドリ、散乱場理論研究、先端膜工学、惑星科学などの分野横断型の共創研究の推進により、同地区のクラスター形成に主体性を持って参画している。

さらに、市民への一般公開などのイベントを通じて、神戸大学や統合研究拠点で行われている研究の成果を分かりやすく社会に伝えたりすることで、神戸大学の社会貢献に大きく寄与している。

2. 最近における特記事項

- 神戸大学と理化学研究所計算科学研究機構 (現計算科学研究センター) において、相互の特性を活かした連携・協力によって国際的な研究拠点の形成を実現し、わが国の科学技術・学術の進展及び地域の振興に貢献するため、計算科学、計算機科学分野における連携協定を締結。(平成 24 (2012) 年 5 月)
- 神戸大学と理化学研究所計算科学研究機構 (現計算科学研究センター) において、連携協定に基づき平成 24 (2012) 年 4 月より 2 件の共同研究を実施、平成 25 (2013) 年 4 月までに新たに 3 件を追加して、計 5 件の共同研究を実施。その後も共同研究等を推進。
- 先端融合研究の更なる機能的な推進を図るため、統合研究拠点に専任教員 (拠点長) を配置し、「その他施設」から、「学際融合教育研究推進組織」に組織改編。(平成 25 (2013) 年 4 月)
- 全学における文理融合型の学際研究の推進、「次世代バイオ医薬品製造技術基盤開発」に関わる実装型の最新設備の設置並びに関係プロジェクトの集中と拡充を目的とし、統合研究拠点アネックス棟建設工事を平成 26 (2014) 年 3 月に着工し、平成 27 年 4 月には、次世代バイオ医薬品製造技術研究組合が入居し、実装型の最新設備をもとに、国際ビジネスモデルへの展開を目指した次世代バイオ医薬品等に係る先端的な研究開発と人材育成を実施。
- 平成 28 (2017) 年 4 月からは、神戸大学の「先端研究」、「文理融合研究」を更に推進するために新たに設置された組織である「先端融合研究環」のポートアイランド地区の研究拠点として活動。
- 令和 4 (2022) 年 4 月から人文・人間科学系、社会科学系、自然科学系、生命医学系分野における強みを活かし、「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点」として進化・発展し続けることを目指す本学の長期ビジョンを実現するために、特にポートアイランド地区 (神戸医療産業都市) において、同地区に立地する学外機関との連携を促進し、学外の研究機関、他大学、産業界と共創することによって世界最高水準の異分野共創型教育研究拠点の構築を目指すため「学内共同教育研究推進組織」として再編。統合研究拠点での研究内容や活動実績はホームページで公開している。(http://www.ircpi.kobe-u.ac.jp/)

3. 地域貢献

●コンベンションホール

- ・統合研究拠点に研究交流及び研究成果の発信の場として平成 24 (2012) 年 4 月に設置されたコンベンションホール (350 人収容) において、国際会議・シンポジウム・講演会・研究会・研修会等が開催されている。

平成 25 (2013) 年度	29 件
平成 26 (2014) 年度	32 件
平成 27 (2015) 年度	34 件
平成 28 (2016) 年度	34 件
平成 29 (2017) 年度	39 件
平成 30 (2018) 年度	28 件
平成 31・令和元 (2019) 年度	17 件
令和 2 (2020) 年度	6 件
令和 3 (2021) 年度	7 件
令和 4 (2022) 年度	16 件
令和 5 (2023) 年度	27 件

●神戸医療産業都市一般公開への参加

- ・神戸大学の最先端の研究活動を積極的に PR するとともに、最先端の研究などに楽しみながら触れることのできる機会として、平成 23 (2011) 年度より「神戸市医療産業都市一般公開」の一環として「神戸大学統合研究拠点一般公開」を開催。

平成23 (2011) 年11月：計算科学・計算機工学研究プロジェクトに設置されている3次元可視化システム (π-CAVE) により、一般市民への見学会を実施。

平成24 (2012) 年10月：コンベンションホールを開放し、計算科学成果を3次元に可視化した映像デモを放映し、約770名が参加。

平成25 (2013) 年10月：各研究プロジェクトの内容をロビーで展示するとともに、コンベンションホールにて3次元可視化システム見学会を実施し、約1,250名が参加。

平成26 (2014) 年10月：各研究プロジェクトの内容と同年8月に実施した統合研究拠点サロンの講演を、ロビーで展示・上映するとともに、コンベンションホールにて3次元可視化システム見学会を実施し、約1,150名が参加。

平成27 (2015) 年10月：各研究プロジェクトの内容をロビーで展示するとともに、神戸大学や統合研究拠点に関するクイズラリーを実施した。また、コンベンションホールにて3次元可視化システム見学会を実施し、約1,200名が参加。

平成28 (2016) 年11月：各研究プロジェクトの内容をロビーで展示するとともに、神戸大学や先端融合研究環統合研究拠点・計算科学教育センターに関するクイズラリーを実施した。また、コンベンションホールにて先端融合研究環統合研究拠点で活動する研究プロジェクトの内容についてのミニ講演会と3次元可視化システム見学会を実施し、約980名が参加。

(統合研究拠点)

- 平成29 (2017) 年10月 : 各研究プロジェクト及びユニットの内容をロビーで展示するとともに、神戸大学や先端融合研究環統合研究拠点・計算科学教育センターに関するクイズラリーを実施。また、コンベンションホールにて3次元可視化システム見学会を実施し、約1,200名が参加。
- 平成30 (2018) 年11月 : 初公開となるアネックス棟で開催。各研究プロジェクト及びユニットの内容をセミナー室で展示するとともに、神戸大学や先端融合研究環統合研究拠点・計算科学教育センターに関するクイズラリーを実施。また、次世代バイオ医薬品製造技術研究組合の協力のもと、バイオ医薬品施設見学会を実施し、約1,000名が参加。
- 令和元 (2019) 年11月 : 各研究プロジェクト及びユニットの内容をロビーで展示するとともに、神戸大学や先端融合研究環統合研究拠点・計算科学教育センターに関するクイズラリーを実施。また、前年度から引き続き次世代バイオ医薬品製造技術研究組合の協力のもと、バイオ医薬品施設見学会を実施し、760名が参加。
- 令和2 (2020) 年10月 : 新型コロナウイルス感染症対策のため、現地開催は行わずWebで開催した。神戸大学や先端融合研究環統合研究拠点・計算科学教育センターに関するクイズラリーを公開。神戸大学紹介動画についても公開した。
- 令和3 (2021) 年10月 : 前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、現地開催は行わずWebで開催した。神戸大学や先端融合研究環統合研究拠点・計算科学教育センターに関するクイズラリーを公開。また、シミュレーションセミナー『スパコン「富岳」による飛沫シミュレーションと感染リスク評価及びリスク対策低減策の提案～ポストコロナ時代を見据えて～』を公開した。
- 令和4 (2022) 年10月 : 前々回、前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、現地開催は行わずWebで開催した。神戸大学や統合研究拠点に関するクイズラリーを公開。神戸大学紹介動画についても公開した。
- 令和5 (2023) 年11月 : 4年ぶりに現地開催となり、統合研究拠点を一般市民に公開した。コンベンションホールでは、統合研究拠点及び神戸バイオテクノロジー研究・人材育成センター (BTセンター) での研究活動を紹介する講演会を実施。また、ロビーでは統合研究拠点で活動している各研究チームの研究内容を展示するとともに、神戸大学や統合研究拠点・BTセンターに関するクイズラリーを実施。約1,300名が参加。